

◆ 平成27年度事業実施

## (株) オールフィールズ (鹿嶋市)

### 取組概要

## 自家栽培した無農薬小麦・大麦を原料とした 地ビール（発泡酒）の開発

◆ 取組区分 儲かる農業（高品質化） アグリビジネス

### 事業実施前

(株)オールフィールズを経営する唐沢秀氏は、平成20年に鹿嶋市で就農し、現在は田1.4ha、畑4haにおいて、水稻、麦、大豆、野菜などを無肥料、無農薬の自然農法で栽培しています。平成24年には、鹿島神宮参道に、自家製野菜や加工品、地ビール等を提供する直売所&カフェ「楽田家(らくだや)」を開設しました。(現地ビール工房「Paradise Beer Factory」)

この地ビール(国産麦使用)は、東京のビール工房で製造したものを仕入れており、自ら製造した場合に比べコスト高の原因となっていました。

### 取組の内容

地ビールを製造し、地域の特産品としてPRすることで、地域の活性化につなげようと考えました。

自らが栽培した麦を原料にすることで製造原価を下げ、手ごろな価格の地ビールを目指しました。また、無農薬栽培による麦を原料とした地ビールは、希少性があり、他との差別化を図ることで、安心安全という新たな需要を見込みました。



写真1 地ビール工房「Paradise Beer Factory」外観

### 事業費補助を活用した経費

- ・ビール製造機材購入費
- ・設置工事費

### 取組の成果

製造1年目の平成28年は、6,500Lのビールを製造しました。販売額は650万円で目標を達成し、好調な取組みとなっています。

今年度は、自らの店舗に加え、鹿嶋市主催のイベントなどでの出張販売を行い、PRを図りました。また、鹿嶋市のふるさと納税の返礼品にも登録されました。



写真2 地ビール工房「Paradise Beer Factory」内装

### 今後について

今後は、需要にあわせてビールの製造量を増やしていきたいよう、原材料栽培と醸造技術の更なる向上に努めていきます。また、一定量のビールを安定して生産することで、海外への販路開拓を行い、経営を拡大していきたいと考えています。